

NORITSU

face the NEXT™

2019年3月期 決算説明会 2019年6月3日

ノーリツ鋼機株式会社
証券コード：7744（東証1部）

1 2019年3月期 連結業績

2 2020年3月期 連結業績予想

3 2019年3月期 グループ事業トピックス

4 JMDCグループについて

5 APPENDIX

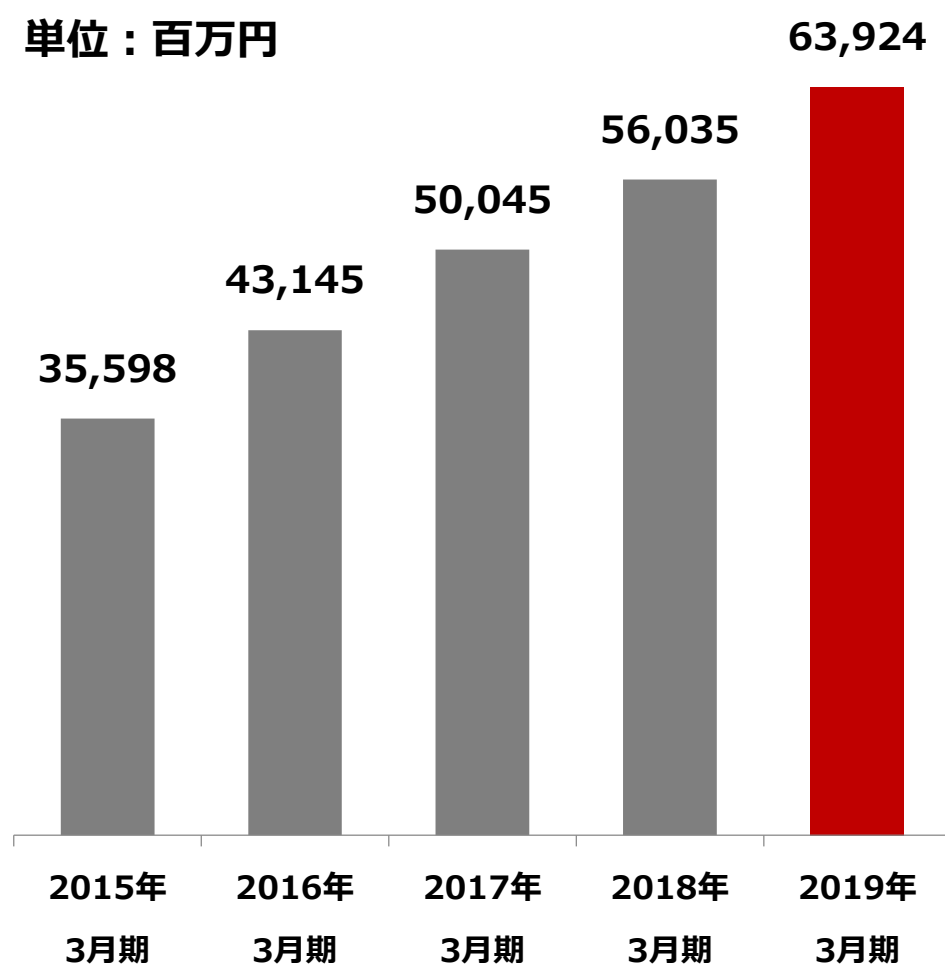
2019年3月期 連結業績のまとめ

単位：百万円	2018年3月期 実績	構成比	2019年3月期 実績	構成比
売上収益	56,035	100.0%	63,924	100.0%
売上総利益	27,042	48.3%	30,124	47.1%
事業利益*	6,003	10.7%	5,842	9.1%
事業EBITDA**	7,567	13.5%	7,589	11.9%
営業利益	5,954	10.6%	5,538	8.7%
税引前 当期利益	6,092	10.9%	5,439	8.5%
親会社の所有者 に帰属する 当期利益	8,920	15.9%	2,953	4.6%

*事業利益 … 営業利益 - その他の収益 + その他の費用 ÷ 日本基準の営業利益

**事業EBITDA … 事業利益* + 償却費 ÷ 日本基準のEBITDA

単位：百万円



前年比 14.1%増

- 日本共済の加入が寄与
(43億29百万円)
- ヘルスケア、シニア・ライフの
各セグメントが好調

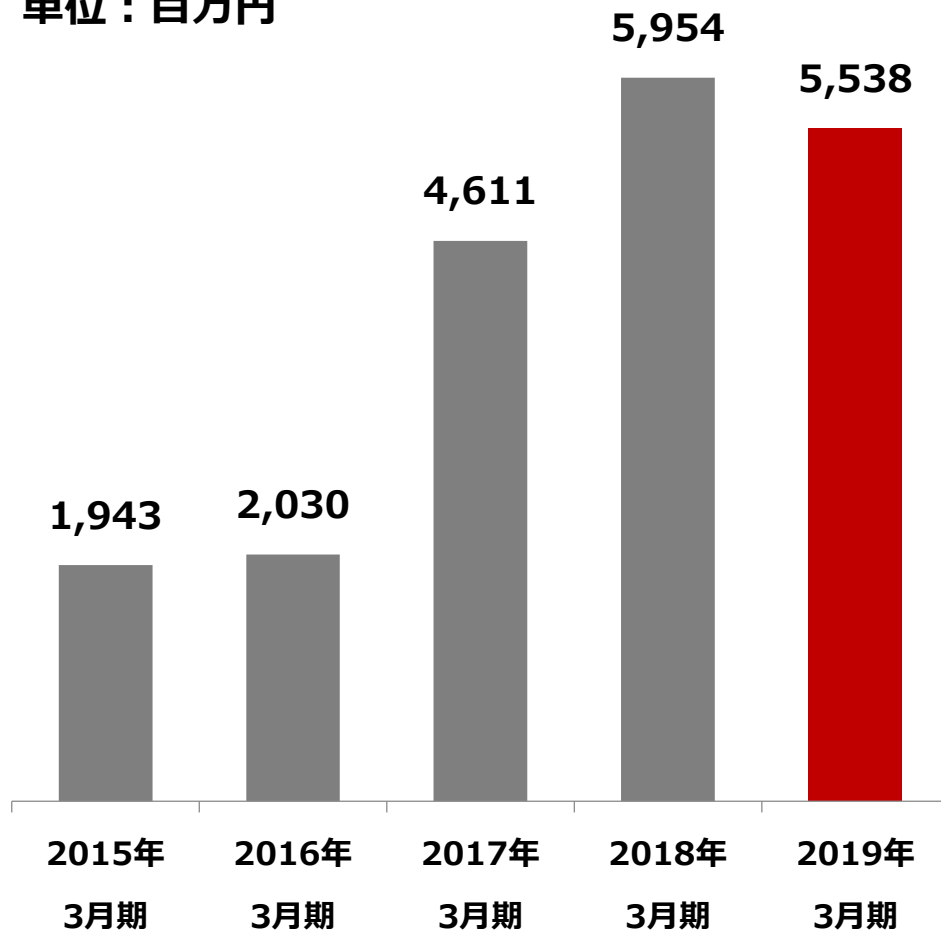
業績予想比1.7%減

- GTSが非継続事業に分類*
(10億21百万円)

IFRS

* 2018年3月期及び2019年3月期は、GTSの実績を控除しております。

単位：百万円



前年比 7.0%減

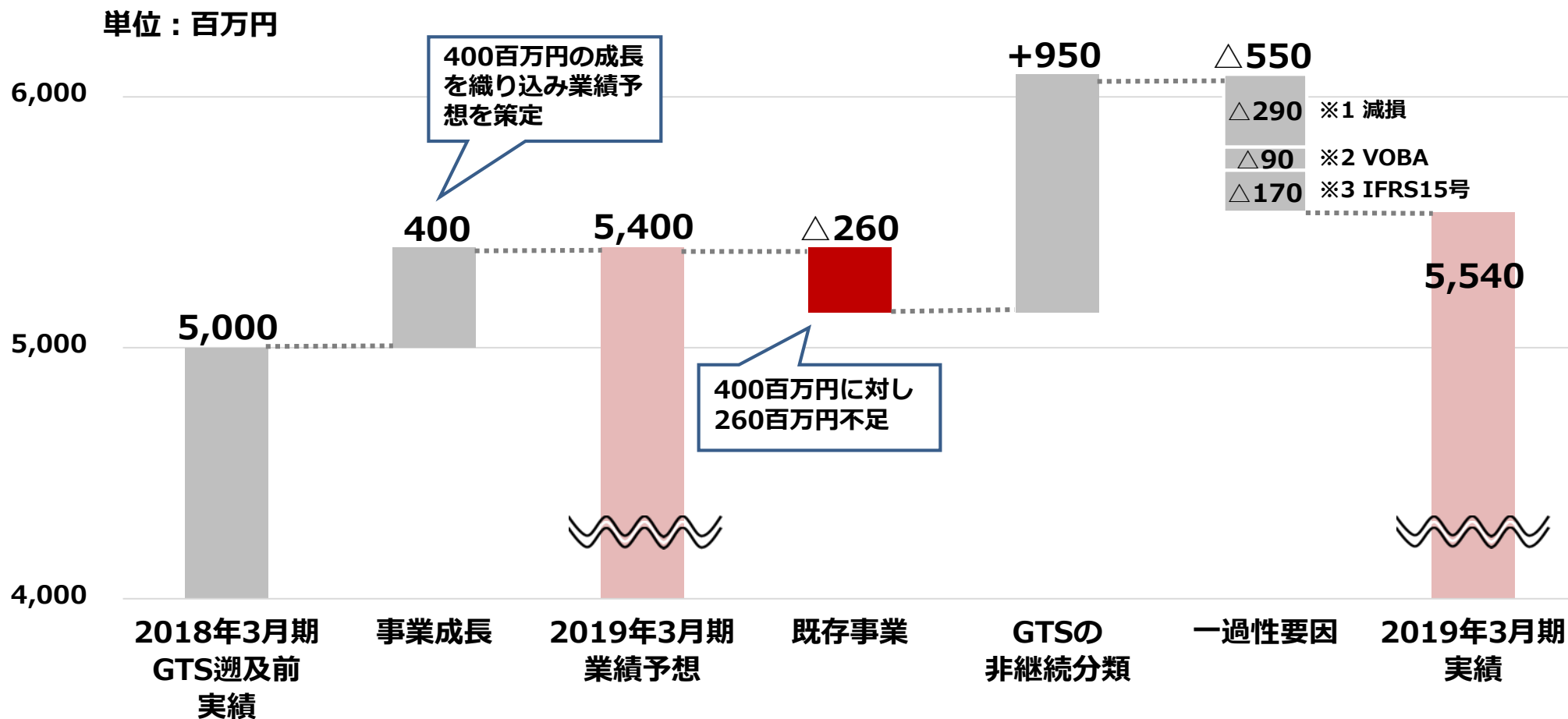
- 事業は堅調に推移したものの一過性コストのため減益
- 一過性コストは△5億50百万円
 - 減損(ドクターネット、NKアグリ) △2億89百万円
 - IFRS15号(会計方針の変更) △1億68百万円 等

業績予想比 2.6%増

IFRS

* 2018年3月期及び2019年3月期は、GTSの実績を控除しております。

2019年3月期業績予想と実績の比較【営業利益】



※1 減損：ドクターネットのシステム資産の減損△150百万円、NKアグリ植物工場の減損△90百万円等。

※2 日本共済買収に係るVOBA償却：取得日現在における既存の保険契約の公正価値を無形資産に計上したもの。保険契約の期間に応じて償却を要する。

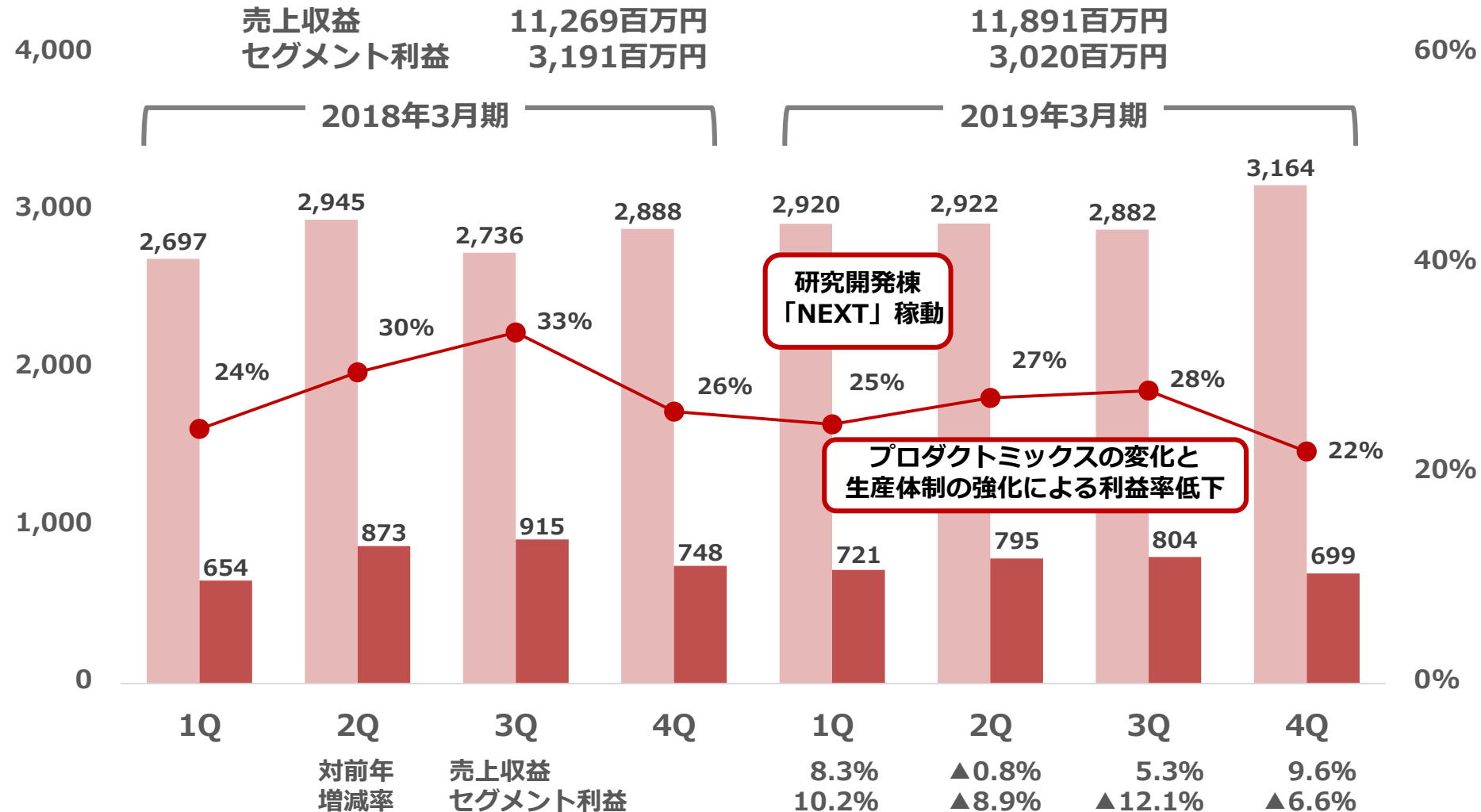
※3 IFRS15号「顧客との契約から生じる収益」：当連結会計年度における会計方針の変更の影響。

※4 数値については、要素分解をわかりやすく示すため概数を記載。

セグメント別 四半期比較（ものづくり）

単位：百万円

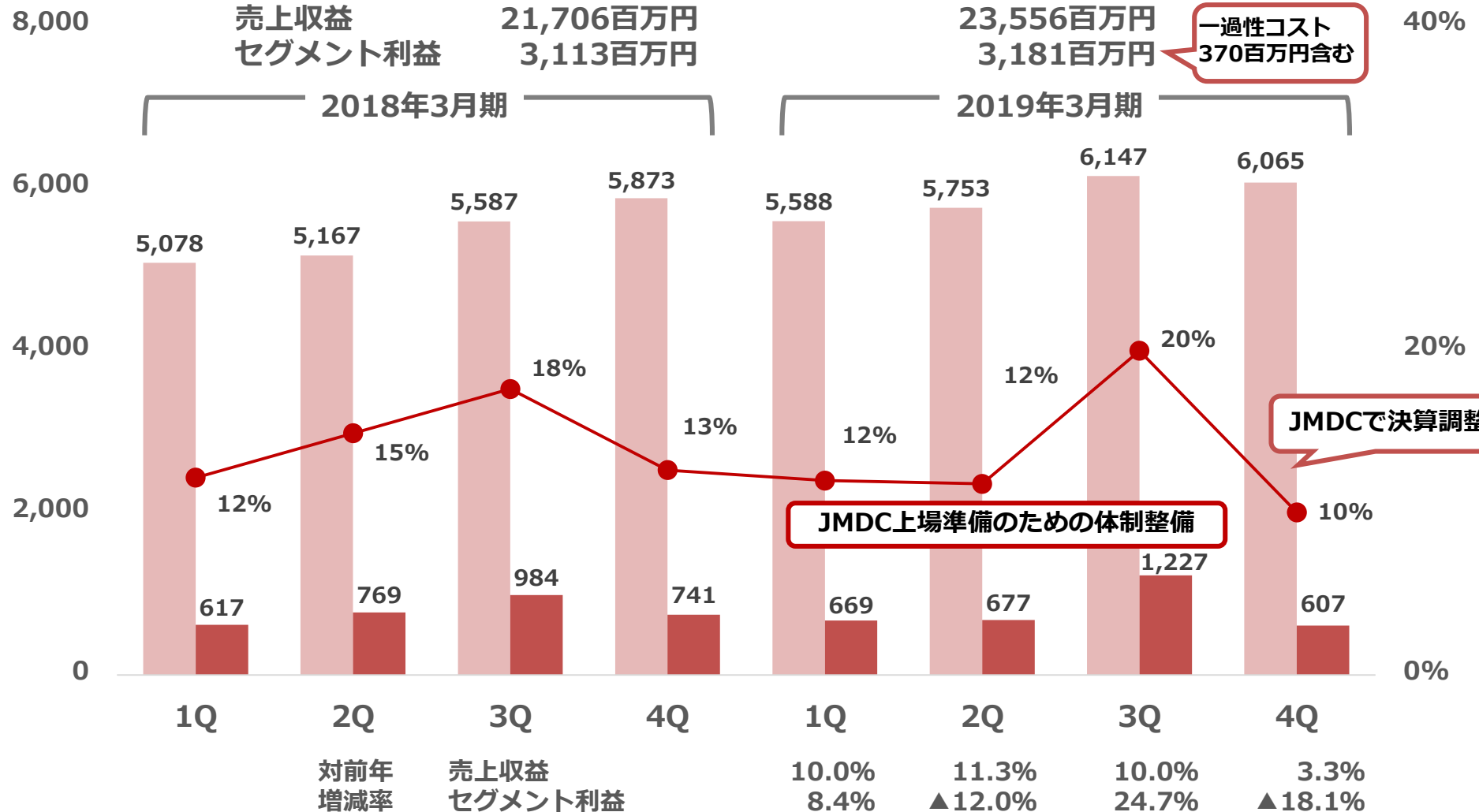
■ 売上収益 ■ セグメント利益 ● セグメント利益率



セグメント別 四半期比較 (ヘルスケア)

単位：百万円

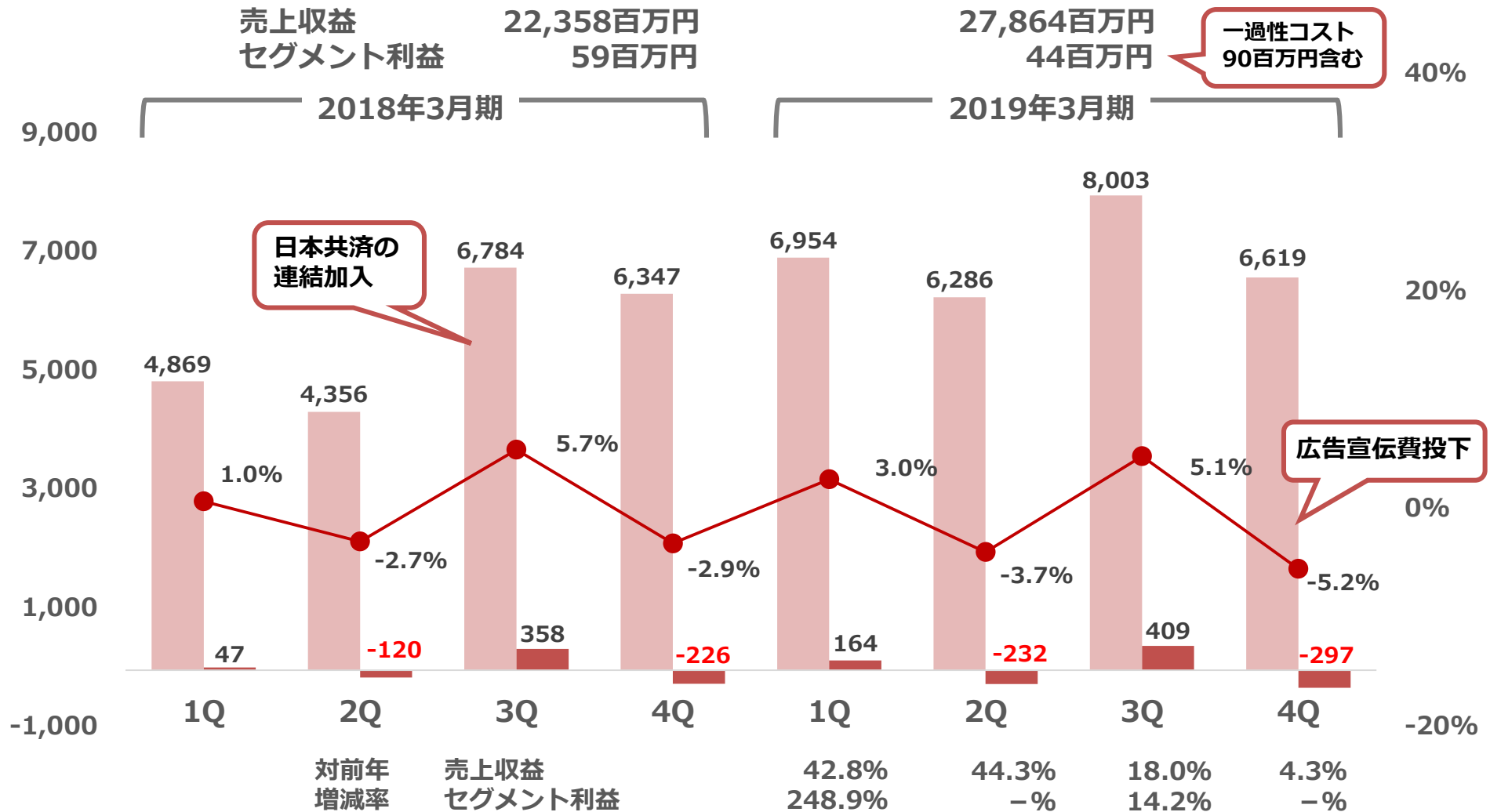
売上収益 セグメント利益 セグメント利益率



セグメント別 四半期比較 (シニア・ライフ)

単位：百万円

■ 売上収益 ■ セグメント利益 ● セグメント利益率



2019年3月期 BSの状況

(単位：百万円)

資産	'18/03	'19/03	差額
流動資産	50,443	60,806	10,362
現金及び現金同等物	26,663	27,573	910 *1
売上債権及びその他の債権	13,563	14,096	532
棚卸資産	4,914	4,951	36
再保険資産	3,400	3,834	434
売却目的で保有する資産	—	9,457	9,457
その他	1,901	891	△1,009
非流動資産	98,214	88,898	△9,316
有形固定資産	6,173	6,840	666 *2
のれん	39,352	38,928	△423
無形資産	21,660	16,994	△4,665 *1,2
その他の金融資産	24,009	19,430	△4,578 *1,2
繰延税金資産	6,260	5,902	△358 *2
その他	757	802	44
資産合計	148,658	149,705	1,046

負債及び資本	'18/03	'19/03	差額
流動負債	27,203	30,273	3,069
仕入債務及びその他の債務	11,568	12,261	693 *1
借入金	7,195	5,814	△1,380
保険契約準備金	3,822	4,342	519
売却目的で保有する資産に 直接関連する負債	—	1,690	1,690
その他	4,617	6,164	1,546
非流動負債	44,745	41,456	△3,288
借入金	30,981	30,268	△713 *2
繰延税金負債	12,836	10,061	△2,775
その他	926	1,127	200 *2
負債合計	71,948	71,730	△218
資本金	7,025	7,025	—
資本剰余金	14,908	14,755	△152
利益剰余金	42,008	45,052	3,044
自己株式	△1,211	△1,211	△0
その他の資本の構成要素	12,747	9,349	△3,398
非支配持分	1,231	3,004	1,772
資本合計	76,709	77,975	1,265
負債及び資本合計	148,658	149,705	1,046

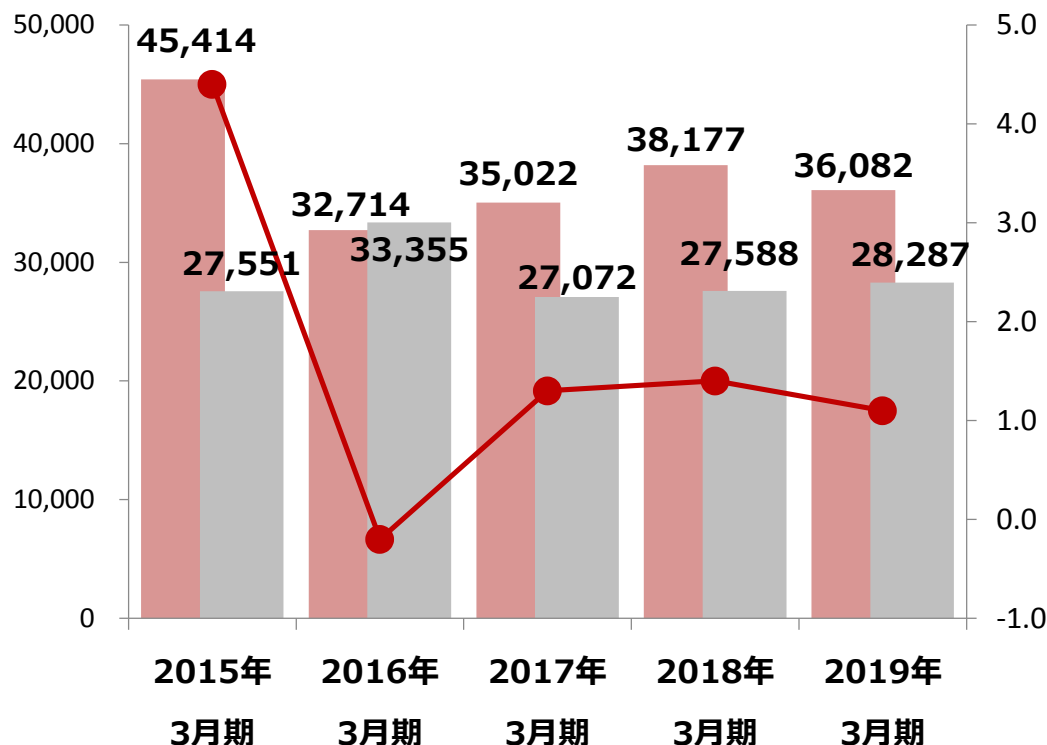
*1 流動資産/負債の増加……GTSの非継続事業への分類に伴い、GTSの資産負債を振替えたもの。

*2 非流動資産/負債の減少…無形資産とのれんの減少は上記振替によるもの。その他の金融資産の減少はPKSHA株式の評価替によるもの。

※売却目的で保有する資産に分類したGTS株式会社については、P.21-22をご参照ください。

単位：百万円

■ 有利子負債
■ 現金性資産
● Net Debt/EBITDA



純有利子負債 77億円

- 手元資金の増加と借入金の返済が進み、純有利子負債は28億円減少
- Net debt / EBITDA倍率は1.0~1.5倍で推移

IFRS

株主還元方針

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期 (予想)	2022年 3月期 (中計目標)
中間配当	7円	7円	7円	—
期末配当	8円	8円	8円	—
年間配当	15円	15円	15円	25円
配当性向	6.0%	18.1%	17.2%	—

1 2019年3月期 連結業績

2 2020年3月期 連結業績予想

3 2019年3月期 グループ事業トピックス

4 JMDCグループについて

5 APPENDIX

2020年3月期 連結業績予想

単位：百万円	2019年3月期 実績	構成比	2020年3月期 予想（前期比）	構成比
売上収益	63,924	100.0%	68,000 (+6.4%)	100.0%
事業利益*	5,842	9.1%	6,300 (+7.8%)	9.26%
事業EBITDA**	7,589	11.9%	8,000 (+5.4%)	11.8%
営業利益	5,538	8.7%	6,200 (+11.9%)	9.1%
税引前当期利益	5,439	8.5%	5,400 (-0.7%)	7.9%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,953	4.6%	3,100 (+5.0%)	4.6%

*事業利益 … 営業利益 - その他の収益 + その他の費用 ÷ 日本基準の営業利益

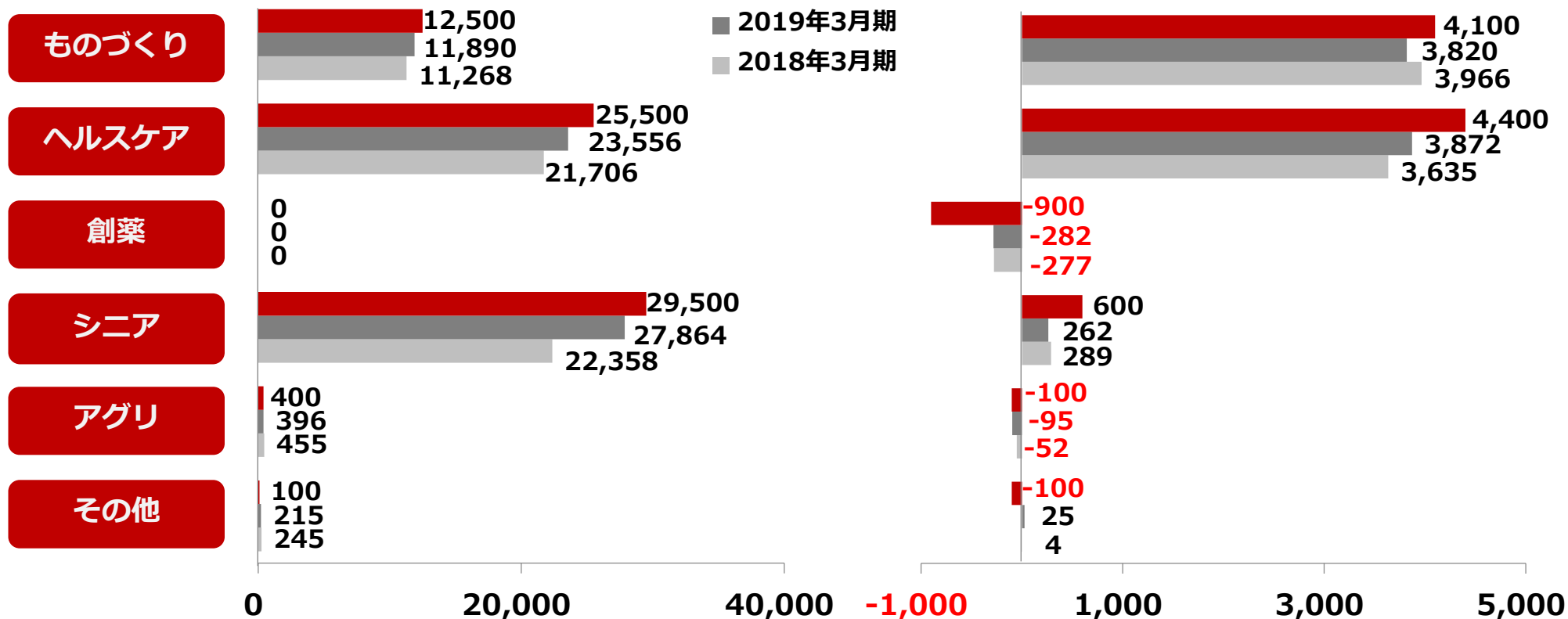
**事業EBITDA … 事業利益* + 償却費 ÷ 日本基準のEBITDA

セグメント別 売上収益／事業EBITDA

売上収益

事業EBITDA

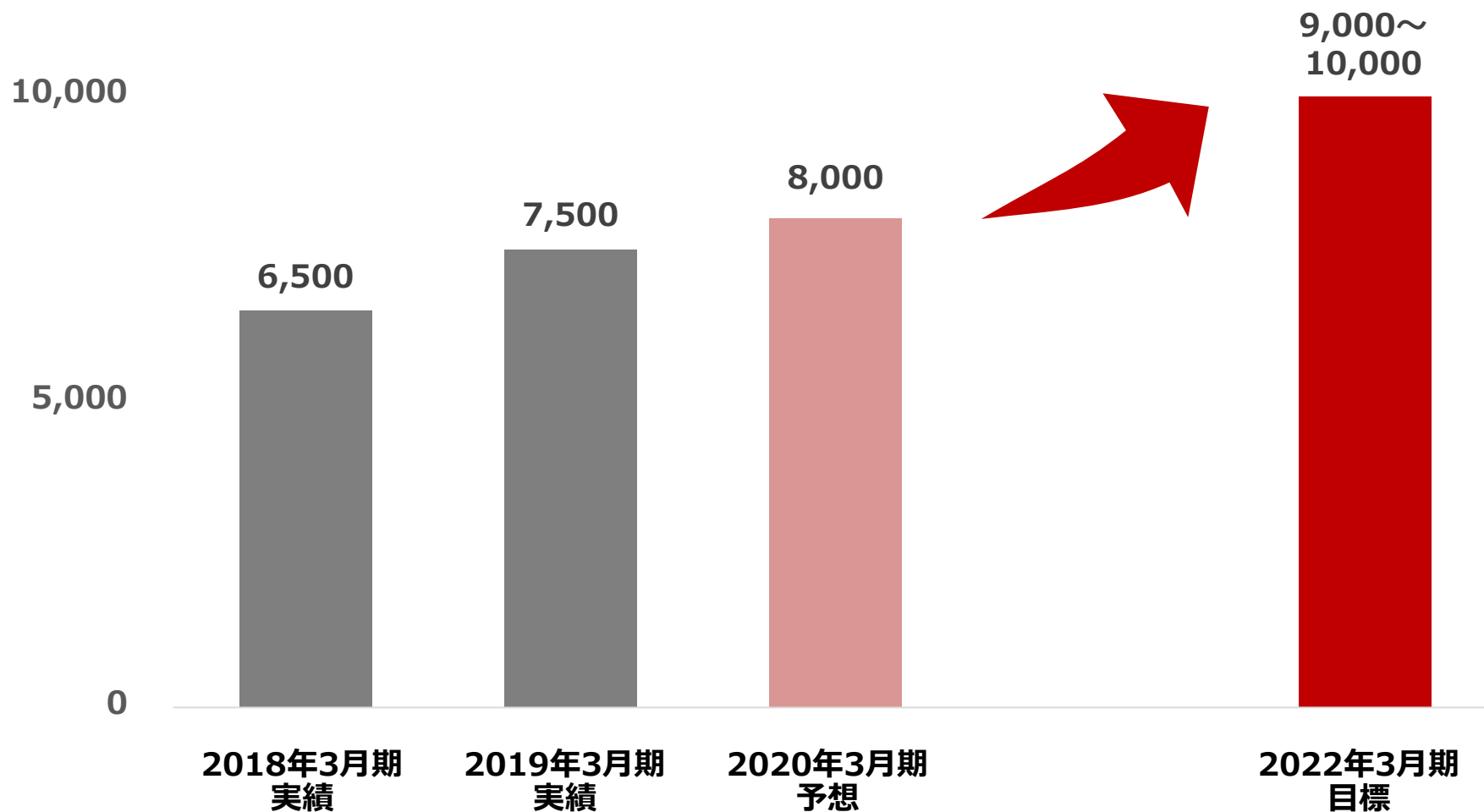
単位：百万円



以下を業績予想に織り込み

- ・ヘルスケア…JMDCの上場準備費用、新規サービスの開発費用
- ・創薬…JRMの研究開発が順調に進捗した場合の研究開発費増加

通期事業EBITDAの推移



1 2019年3月期 連結業績

2 2020年3月期 連結業績予想

3 2019年3月期 グループ事業トピックス

4 JMDCグループについて

5 APPENDIX

- 2019年2月、テイボー株式会社が、株式会社soliton corporation（ソリトン）の株式を取得
- ソリトンはPBT（化学繊維）を使ったアイライナー、アイブローなどのブラシ製造の国内トップパイオニア
- テイボーのコスメ事業における商品提案力強化

【PBTブラシについて】

表面



滑らかさ、描き心地の良さが特徴。合繊チップにないコシとブラシ特有の肌触りがあります。



- **MIM事業はテイボーの売上高10%を超えるまで成長**
- **堅調な需要と競合優位性から生産拡大を計画**
- **2019年3月、浜松市から用地取得**
- **2020年3月期の着工、2021年3月期の稼働を目指す**



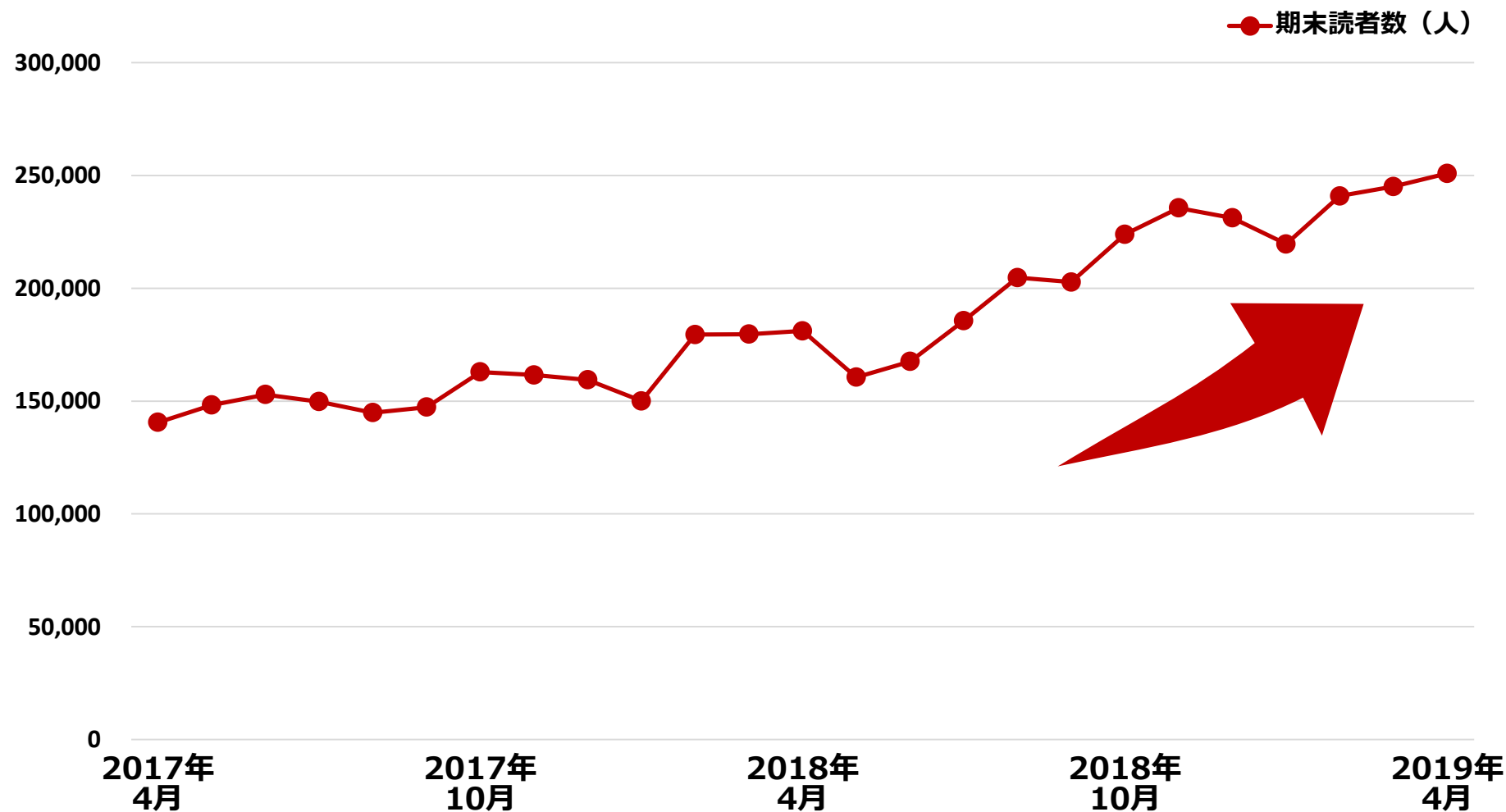
【MIM事業について】

MIM（金属射出成形-Metal Injection Molding）は、最新の金属部品製造法の一つで、従来のプラスチック射出成形法と金属粉末冶金法を融合することによって生まれた複合技法です。

テイボーでは平成6年より、MIM部品の製造・販売を開始しました。

ハルメクの購読者数が成長

月刊定期購読誌「ハルメク」購読者数



出所：株式会社ハルメク調べ

2019年4月1日に株式交換を実行

- 本株式交換をもって、GTSが当社の連結子会社から持分法適用の関連会社に異動

セルテクノロジーの概要

- 歯髄幹細胞による再生医療等製品の開発を目的とし、2008年10月30日に設立
- 国内初となる歯髄幹細胞保管事業を運営

歯髄細胞バンク®
(自家)

子供自身や家族のため
預ける！

乳歯・親知らず

自家歯髄細胞保管サービス*

→ 生え変わりによる乳歯脱落歯を、将来の子供自身、又は家族の治療の為に保管

*再生医療等安全性確保法第2種

献歯®
(他家)

家族のため、医療研究のために
献歯®する！

乳歯

他家歯髄細胞保管サービス**

→ 自分以外(他人)にも応用出来る治療法開発の為、研究用細胞を企業・大学へ提供(現在は、第一三共・エーザイ・積水化学等)

**再生医療等製品原料

2019年3月期決算では非継続事業に分類

- 当期/前期の売上収益、営業利益、税前利益から控除

2019年4月以降のGTSの期間損益の当社業績への取り込み

- 持分法投資損益として計上
- GTSが発表している特別損失（60億円）も計上予定
- 当該損失は下記公正価値評価後のGTS株式の簿価を切り下げ

2019年4月1日の株式の公正価値評価

- 2019年4月1日に持分法適用の関連会社となるタイミングでGTS株式を公正価値評価し、持分法投資損益に計上
- 公正価値評価後は、株式下落時等に減損損失を持分法投資損失として計上する可能性

1 2019年3月期 連結業績

2 2020年3月期 連結業績予想

3 2019年3月期 グループ事業トピックス

4 JMDCグループについて

5 APPENDIX

JMDCグループの概要

医療情報関連3社をグループ化し、上場を目指している

	ビジネス 運営主体	ビジネス概要	顧客	KPI	将来業績 貢献度 (低○～高●)	主な 類似企業
ヘルスビッグ データ事業	JMDC ● + × ◀	健保組合等を通じて 得たデータの第三者 への提供・販売	データ利用者 (製薬会社、 生損保、 研究機関等)	・契約企業数 ・顧客1社あたり の年間取引額	●	メディカル データビジョン
		個人向け健康情報 プラットフォーム PeppUp (ペップアップ)	健保組合 健保組合員	・ユーザー数 ・1人あたり売上	●	Welby
遠隔医療事業	DOCTOR NET JMDCの100%子会社	遠隔画像診断 サービスの提供	医療施設	・サービス活用 医療施設数 ・読影件数	◐	テクマトリックス
調剤薬局支援 事業	@UNICE JMDCの100%子会社	薬局向けレセコン・ 電子薬歴の開発・ 提供	薬局	・サービス活用 薬局数	◐	EMシステムズ

Note: 本章「JMDCについて」に記載の財務数値は、JMDCの管理会計上の数値です。

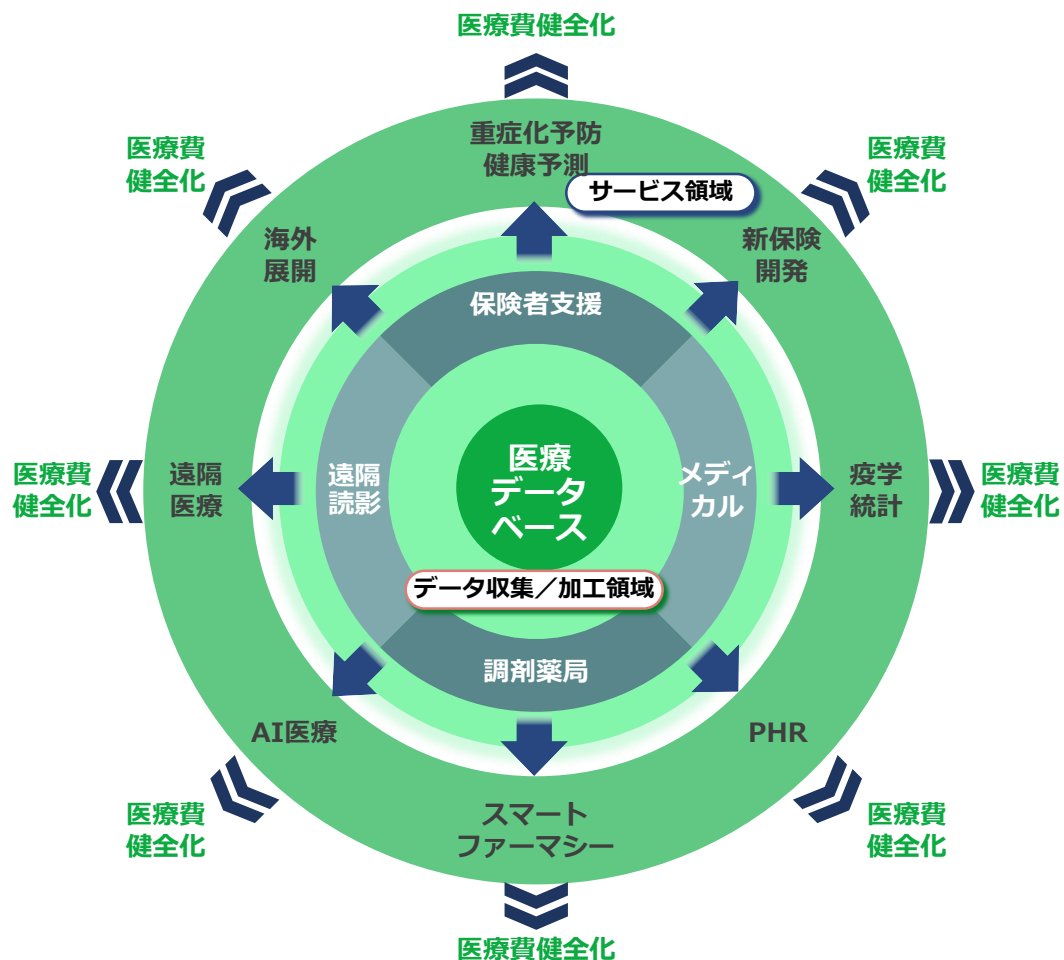
(ご参考) JMDC連結財務数値 (P L、B S、C F)

PL		BS		CF	
(百万円)	当連結会計年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日)	(百万円)	当連結会計年度 (2019年 3月 31日)	(百万円)	当連結会計年度 (自 2018年 4月 1日 至 2019年 3月 31日)
売上収益	10,064	現金及び現金同等物	3,634	税引前当期利益	1,430
売上原価	4,656	流動資産合計	5,924	減価償却費及び償却費	499
売上総利益	5,408	のれん	5,863	営業活動による キャッシュ・フロー	1,645
販売費及び一般管理費	3,759	非流動資産合計	8,926	投資活動による キャッシュ・フロー	△398
EBITDA	2,147	資産合計	14,850	財務活動による キャッシュ・フロー	1,409
営業利益	1,472	流動負債合計	5,236		
税引前当期利益	1,430	非流動負債合計	3,487		
当期利益	1,053	負債合計	8,723		
		資本金	646		
		資本剰余金	3,115		
		利益剰余金	2,353		
		親会社の所有者に 帰属する持分	6,126		
		非支配持分	—		
		資本合計	6,126		
		負債及び資本合計	14,850		

Note: EBITDA : 営業利益 + 減価償却費及び償却費 ± その他の収益・費用

JMDCが提供するプラットフォーム

保険者（健保組合）や医療機関等から得た膨大なデータを軸に、
様々な分野で事業を展開中



JMDCのプラットフォームがもたらすサイクル

全てのヘルスケア関係者にとって価値のある存在となり、更にデータが集まるという好循環

1 多様な医療ビッグデータのエントリーポイント
を有していることで圧倒的なデータの蓄積を実現

2 医療ビッグデータの提供に加え、データ解析・
コンサルティング提案等によってデータ活用を深化

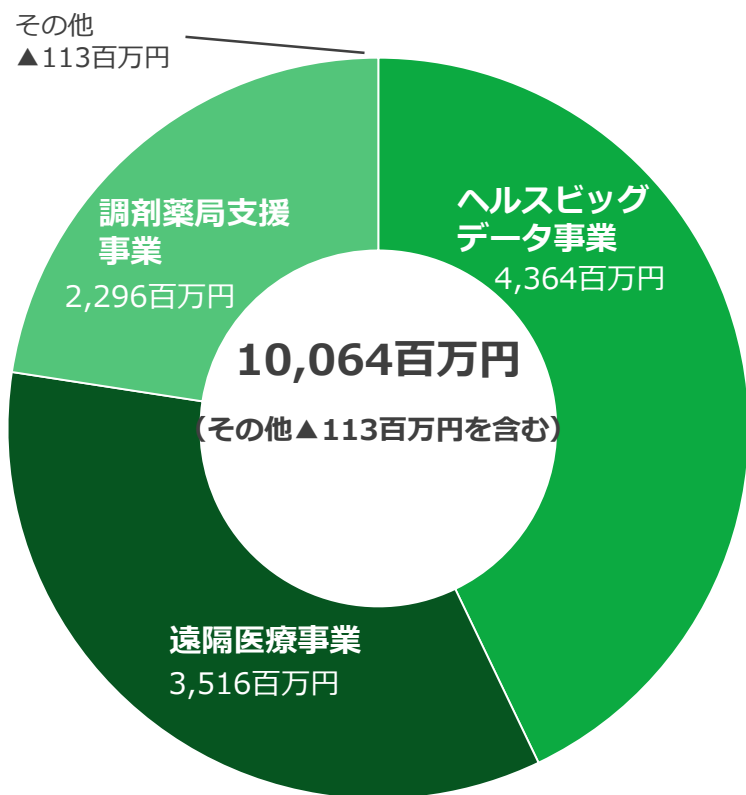
3 遠隔医療や調剤薬局支援等を通じたサービス
スライナップの強化

4 社会生活者と直接繋がるサービスを提供し、
社会生活者・健保組合双方にとって更に価値のある存在に

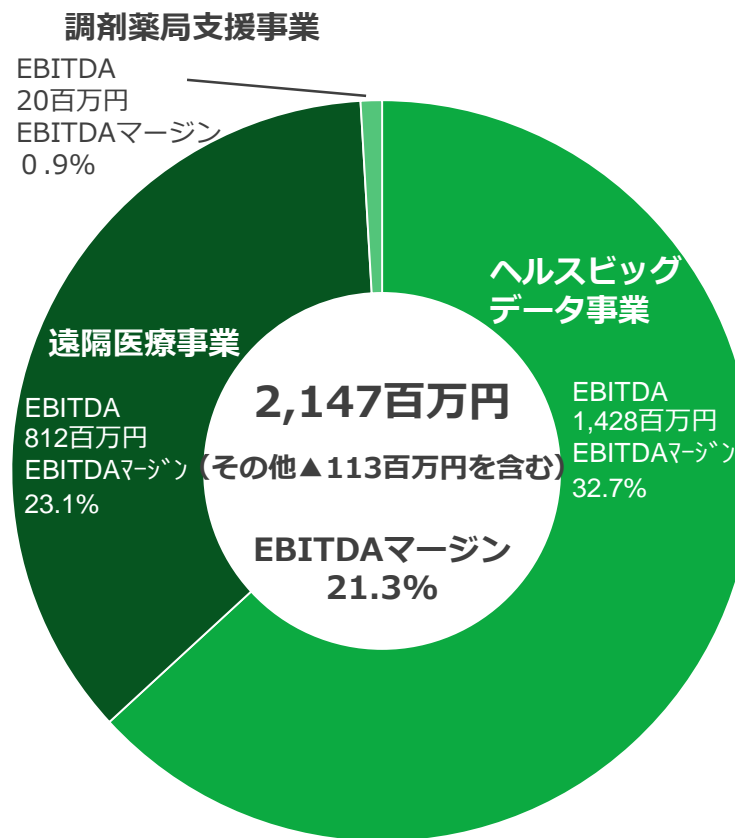
セグメント別の売上高とEBITDA (2018年度)

収益の柱はヘルスビッグデータ事業

売上高



EBITDA/EBITDAマージン



Note:JMDC連結ベース。 EBITDA : 営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用

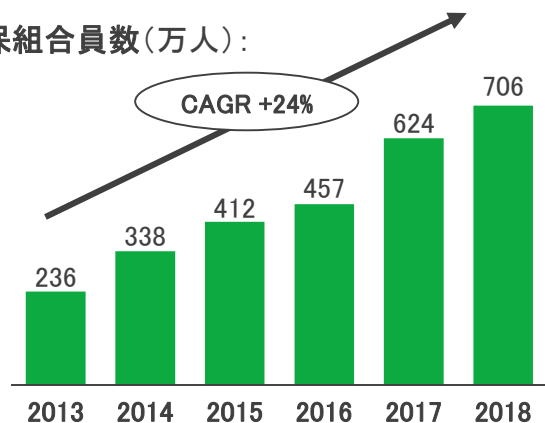


ヘルスビッグデータ事業のデータ量/業績の推移

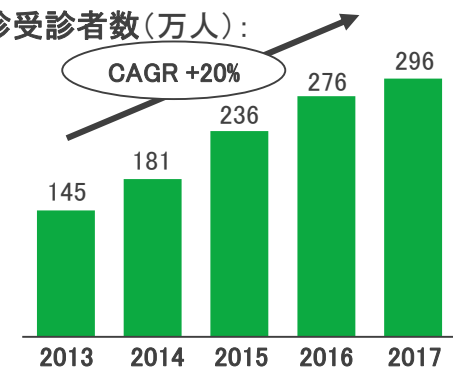
データ量、業績ともに高成長を継続している

保険者由来のレセプト・健診データを国内最大級で保有

健保組合員数(万人):

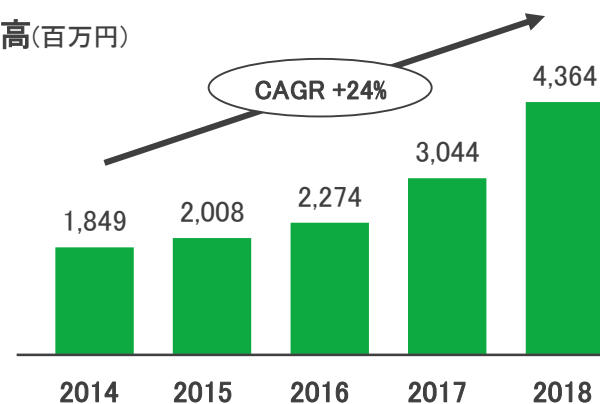


健診受診者数(万人):

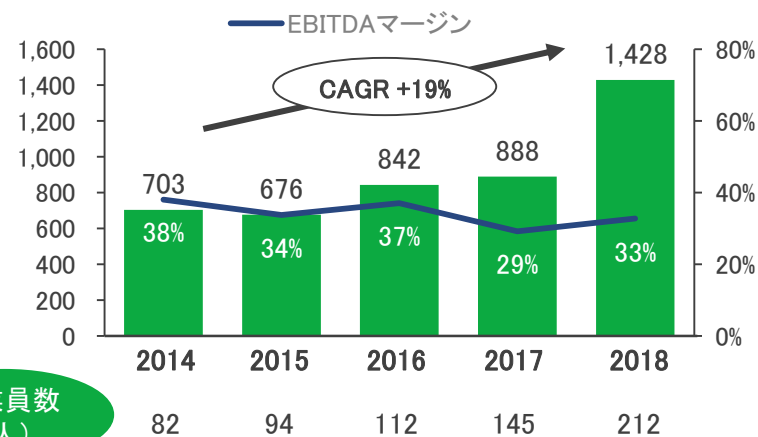


ヘルスビッグデータ事業の業績推移

売上高(百万円)



EBITDA(百万円)



従業員数(人)

82 94 112 145 212

Note: JMDC(ヘルスビッグデータ事業)の売上/EBITDA及び従業員数は、2014年度は株式会社JMDC(JMDC)の単体数値、2015年度～2017年度はJMDC及び株式会社ヘルスデータ・プラットフォーム(HDP、2015年6月にJMDCが買収し、2018年11月にJMDCが吸収合併)の単純合算数値、2018年度はJMDC、HDP、株式会社メディカルデータベース(2018年5月にJMDCが買収)及び株式会社クリンタル(2018年12月にJMDCが買収し、2019年4月にJMDCが吸収合併)の連結数値。EBITDA: 営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用

中長期の成長戦略

1

「データ拡充」×「高付加価値化」を通じた取引額の向上

2

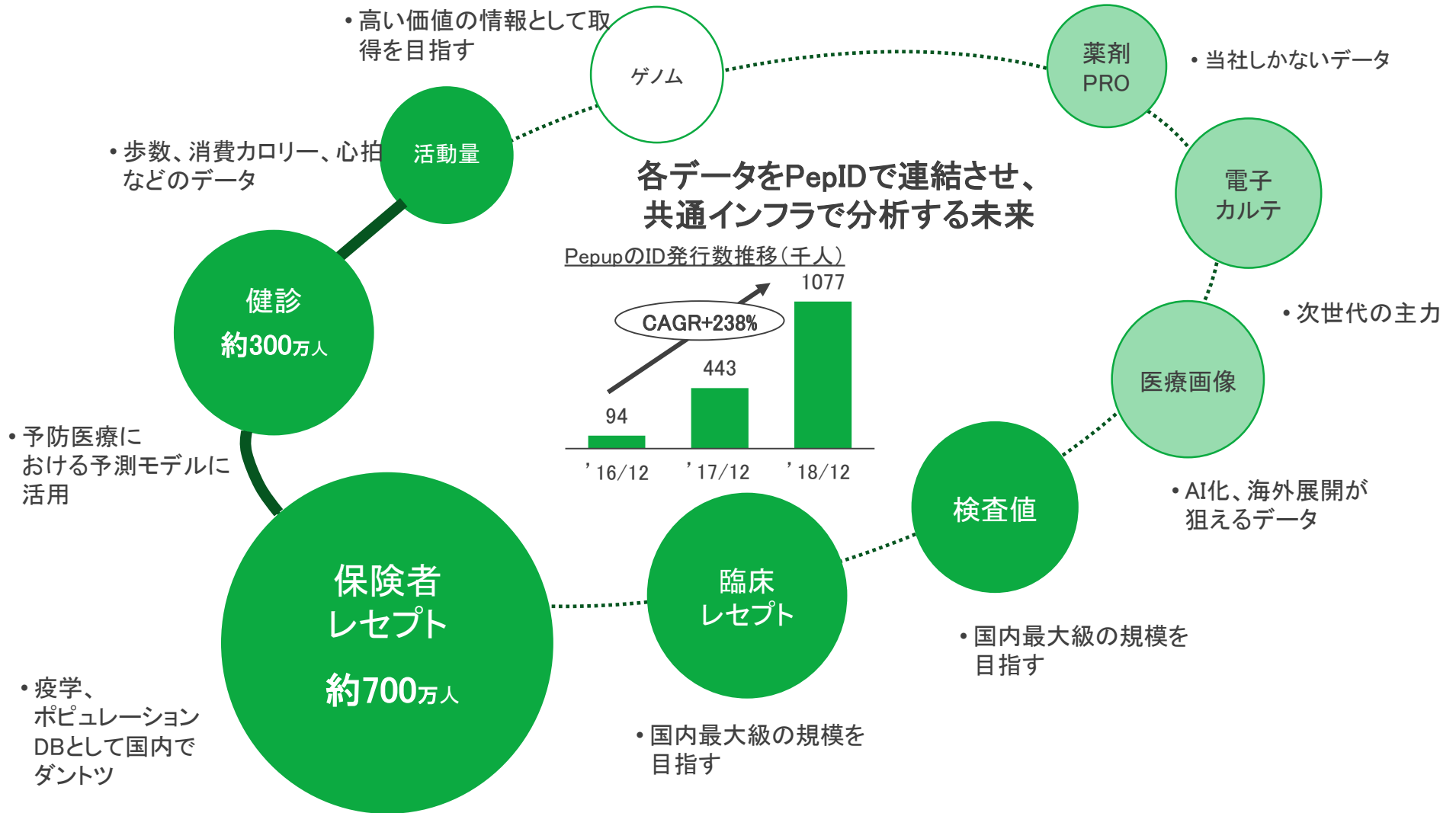
データ利活用による医療における価値創出

3

社会生活者に対して医療費の健全化につながるソリューションを提供し、マネタイズを加速

JMDCのデータ拡充の全体図

保険者レセプトから様々な医療ビッグデータを保有し、連結できる未来に向かう



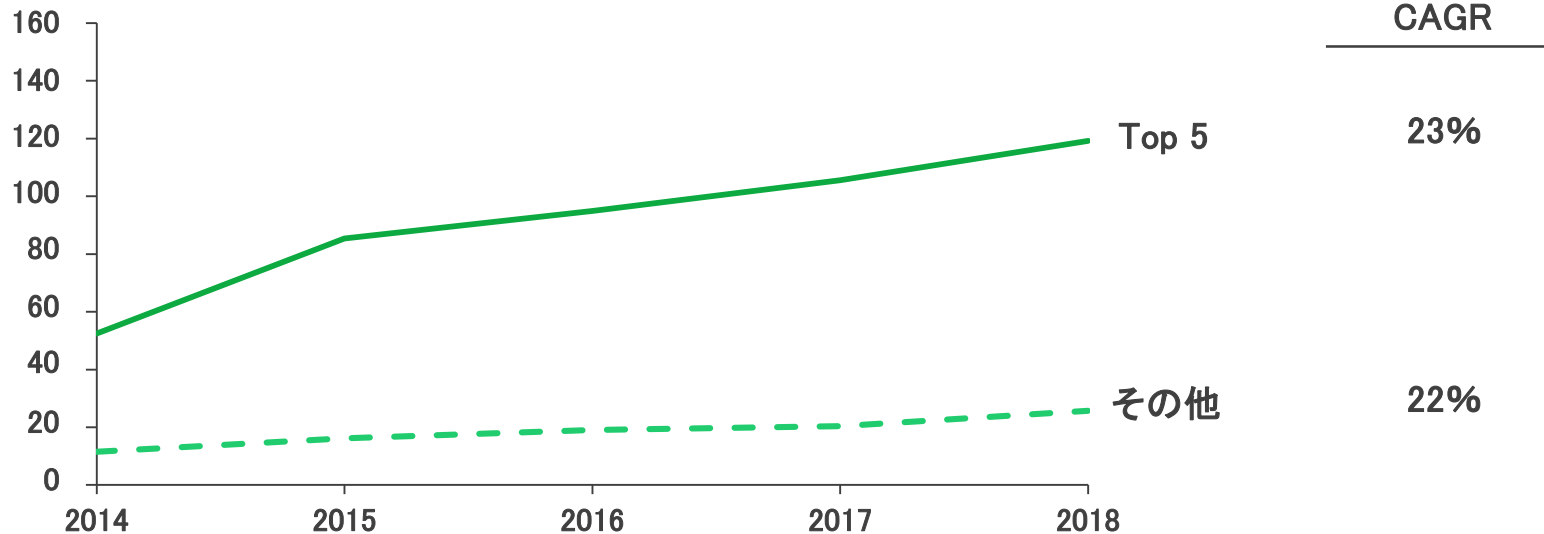
Note: データ保有数は、2019年3月末の概数

顧客1社あたり取引額推移

顧客あたり取引額アップの傾向は続いており、Top企業が市場をけん引
ここ数年はこうした傾向が続くものと想定



顧客1社あたりの年間取引額（百万円）



Note: Top 5は各年度の取引額Top 5企業の平均取引額を使用

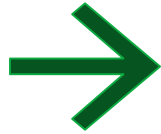
© JMDC Inc.



医療機関由来データを用いた新規サービスの開発

機械学習・解析などのテクノロジーおよび非言語領域(画像)のインバウンド遠隔画像診断などサービス領域は多彩

医療機関由来データ

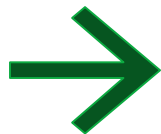


• AI-RAD

• 自動画像診断プラットフォームを構築

• インバウンド
遠隔画像診断

• 非言語の画像診断分野でアジアの先進医療ニーズを捉える

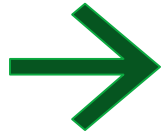


• 名医紹介

• 診断履歴をもとにAIによる領域別のベストドクターを選定

• 病院経営改善

• 治療の非効率を明確化し、運営のムダと最適な治療方針を示す



• スマートファーマシー

• 患者の接触ポイントとして調剤薬局をデジタル化

⋮



個人向け健康情報プラットフォーム

PepUp (ペップアップ)

PepUpを契約健保に導入し、1000万人の健康プラットフォームを目指す
 なお、2018年度の母集団700万人を抱える全健保組合に対する売上高は約700百万円
 (母集団1人あたり年間100円)

こどもを除く社会生活者
 に対し広くIDを付与

70-80%

PepUp.

ID 発行率

健保母集団
 700万人

15%
 (現在)

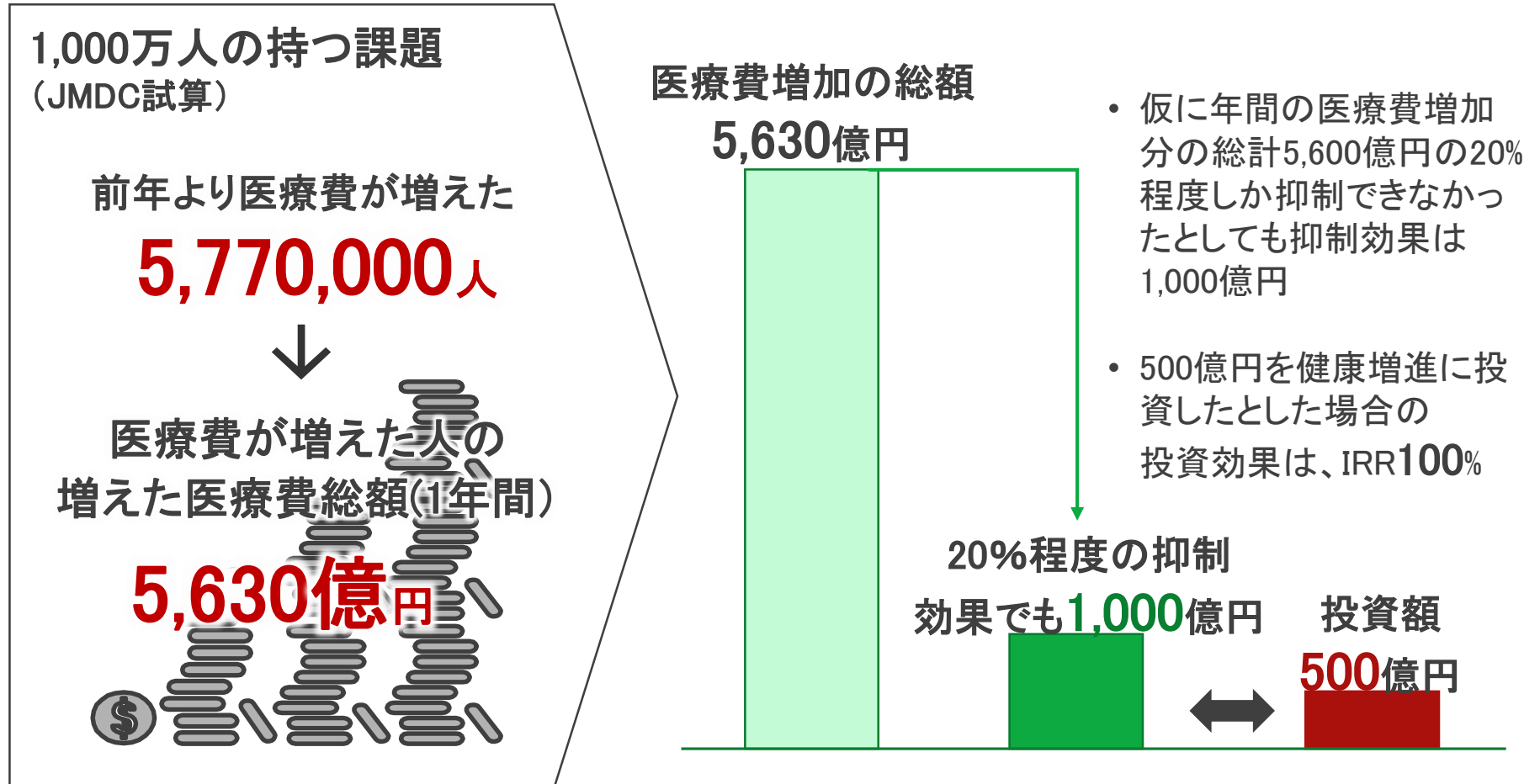


700万人 (現在) → 1,000万人 (現在)

Note: 1000万人の目標は、全健康保険組合の加入者数2900万人の約3分の1の前提

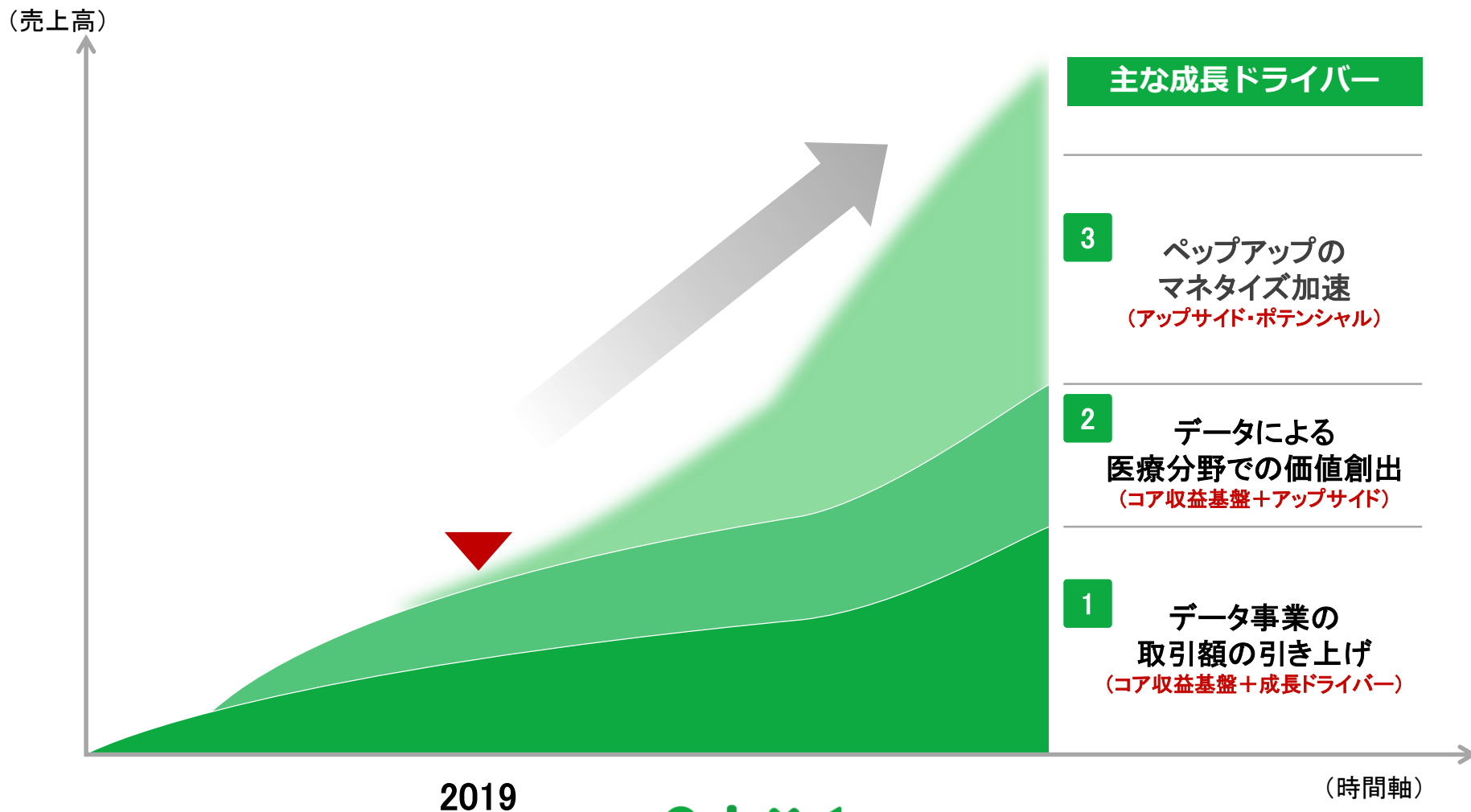
医療費健全化への投資対効果

1000万人の医療費健全化に対する投資対効果は大きい
課題の大きさを健保、企業、個人に理解いただくことにより、投資促進は可能だと想定



Note: 「1000万人の持つ課題」については、JMDC保有データから試算した係数を、1000万人の場合にあてはめて試算

中長期の成長イメージ



1 2019年3月期 連結業績

2 2020年3月期 連結業績予想

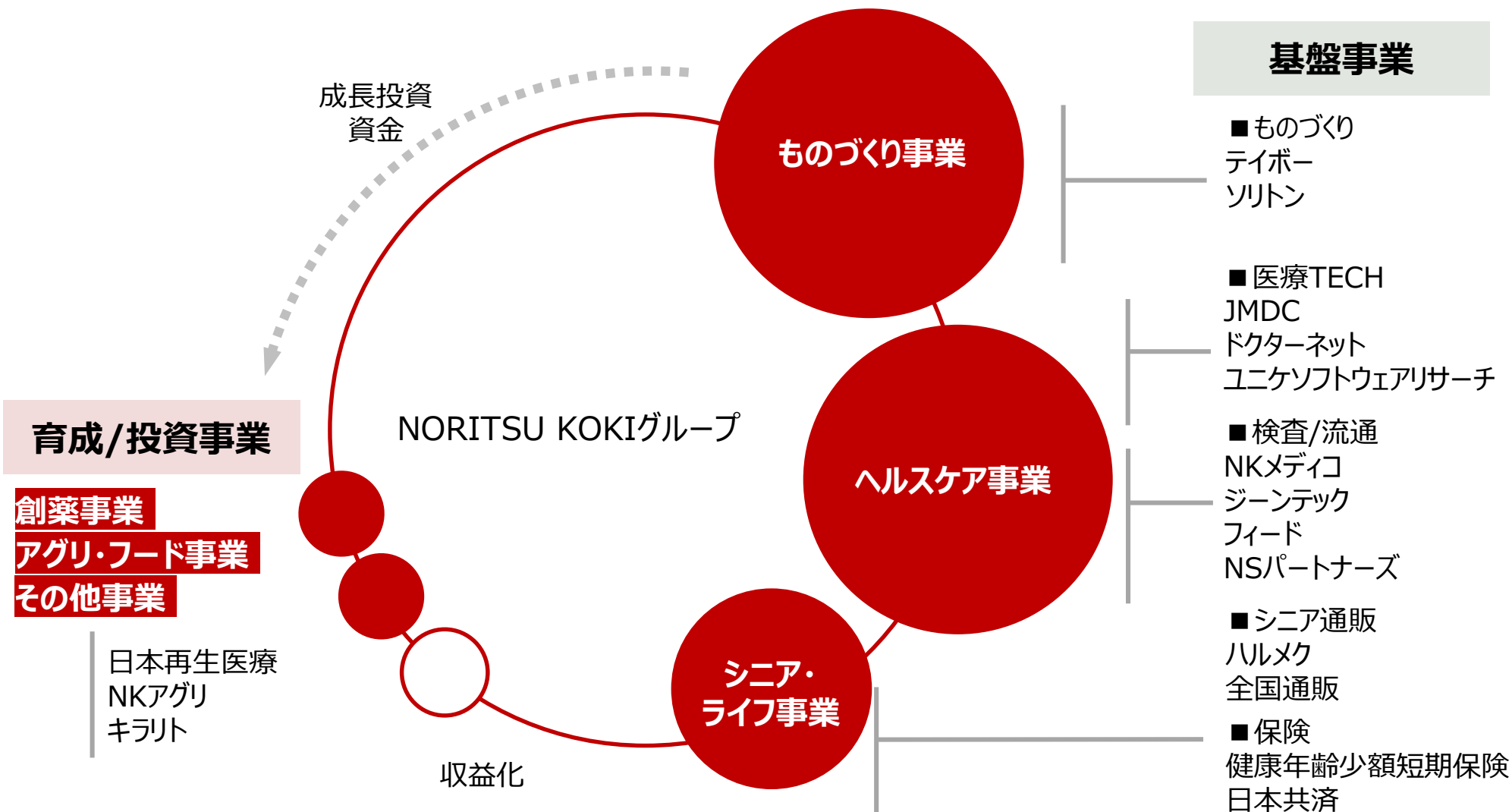
3 2019年3月期 グループ事業トピックス

4 JMDCグループについて

5 APPENDIX

ノーリツ鋼機の事業構造

ポートフォリオ経営により常に新たな事業領域を創造しています。



付加価値の高いものづくりを日本から世界へ
ソリトンをグループに迎え、コスメ商材など新規商材で
世界の大きな需要獲得を目指す

T E I B O W

テイボー株式会社

国内No.1

世界No.1

世界トップシェアのペン先が新
たな分野の未来を描く

年間約3400品種を取り扱い、国内および世界
45ヶ国以上に販売するなど、世界トップシェアを誇る
ペン先事業を中心に、その技術力を応用し、コスメ
ティック業界や先進医療を支える極細チューブ開発
へも進出。さらに、金属粉末射出成形法「MIM」と
いった新分野にまで活躍の場を広げています

 *Soliton corporation*

ソリトンコーポレーション

奈良筆の技術を踏襲した
ブラシ穂首オートメーション
製造メーカー

2019年、テイボーとグループ化
世界中のお客様のニーズに応じて
一体型商品を製造していく

医療TECH分野の3社をひとつのグループに再編し 上場を目指す



株式会社JMDC

国内No.1

医療統計
データサービス

民間利用可能な国内最大級の
医療データベースで未来を照らす



株式会社ドクターネット

国内No.1

遠隔読影
サービス

遠隔読影のNo.1かつリーディング
カンパニー
画像診断の中国進出をスタート



(株)ユニケソフトウェアリサーチ

保険薬局向け
システム事業

スマートファーマシー®をコンセプト
に、ICTで、次世代薬局を提案

ヘルスケア事業（検査/流通）：グループ会社

NO
face
調整



ジーンテック株式会社

国内No.1

母体血による
胎児DNA検査
サービス

新型出生前診断で実績/シェア
No.1のリーディングカンパニー
新規遺伝子検査の開発を目指す



NKメディコ株式会社

国内No.1

予防医療事業

最新の予防医療検査・技術をいち
早く実現化し、病気のリスク検査
から始まる予防医療を推進



フィード株式会社

歯科向け
通販事業

革新的な歯科器材製品、サービスで
歯科業界の流通革命を巻き起こす



エヌエスパートナース(株)

医療機関の
経営サポート

50以上の医療機関へ経営
コンサルティング/サポート
医療/介護現場の経営力を強化

これからのために、生きてきた

ハルメク
h a i m e k

株式会社ハルメク

国内No.1

**シニア向け出版
ならびに通信
販売業**

**シニア女性向けNo.1ライフ
スタイル雑誌と通販を展開
ハルメクホールディングスとして
シニア向け総合サービス企業に
進化していく**

 **株式会社 全国通販**

株式会社全国通販

**シニア向け
カタログ通販事業**



健康年齢少額短期保険株式会社

健康年齢少額短期保険(株)

**生命保険や
医療保険の
少額短期保険**

**日本初の健康年齢連動型医療
保険を販売
今後も新しい保険商品を開発**



Nihon Kyosai

日本共済株式会社

**家財保険の
少額短期保険**

**誰にでも分かりやすい賃貸入居者
向け家財保険を提供する
リーディングカンパニー**

創薬事業



株式会社日本再生医療

**再生医療技術・
製品、細胞医薬
品の研究開発**

小児先天性心疾患を対象とした
世界初の再生医療等製品
ヒト（自己）心臓内幹細胞の
治験開始

アグリ・フード事業



NKアグリ株式会社

**機能性野菜の
研究開発**

農業×ITで、安心/安全かつ
高付加価値の「機能性野菜」を
生産する

その他



株式会社キラリト

**グラフィック
ソリューション
事業**

15カ国35,000名のクリエイター
を有するグラフィック制作プラット
フォームを運営

本資料に記載されているいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。